尊

12画

音 ソン
訓 たっとい　とうとい　たっとぶ　とうとぶ

部首 寸（すん）
意味 とうとい　とうとぶ

言葉
尊敬語
恩師を尊ぶ。
尊い教え。

(1) 自尊心が傷つく。（　　）
(2) たっとい　精神。
(3) とうとい　命。
(4) 相手を　そんちょう　する。

敬

12画

音 ケイ
訓 うやまう

部首 攵（のぶん　ぼくにょう　ぼくづくり）
意味 うやまう　つつしむ

言葉
先生を敬う。
敬老
敬愛

(1) 相手に敬意をはらう。（　　）
(2) けいご　で話す。
(3) 博士を　そんけい　する。
(4) 父母を　うやまう　。

優

17画

音 ユウ
訓 （やさしい）（すぐれる）

部首 イ（にんべん）
意味 やさしい　すぐれる　役者

言葉
優先
優等生
優美

(1) 試合を優勢に進める。（　　）
(2) 大会で　ゆうしょう　する。
(3) あこがれの　じょゆう　。
(4) ゆうい　に立つ。

朗

10画

音 ロウ
訓 （ほがらか）

部首 月（つき）
意味 ほがらか　あきらか

言葉
朗詠
朗らかな声。

(1) 朗々と読み上げる。（　　）
(2) 詩を　ろうどく　する。
(3) ろうほう　が届く。
(4) めいろう　な人。

善

12画

音 ゼン
訓 よ・い

部首	意味	言葉
口（くち）	よい よく よくする	善意（ぜんい） 善良（ぜんりょう） 善い人（よひと）。

（1）食生活を改善する。

（2）□（よい）行いをする。

（3）□（ぜん あく）の判断をする。

（4）野球の□（しん ぜん）試合。

恩

10画

音 オン

部首	意味	言葉
心（こころ）	めぐみ いつくしむ	恩（おん）にむくいる。 恩義（おんぎ） 報恩（ほうおん）

（1）謝恩会に出席する。

（2）中学時代の□（おん し）。

（3）□（おんがえし）をする。

（4）命の□（おん じん）。

忠

8画

音 チュウ

部首	意味	言葉
心（こころ）	まごころ ただしい	忠誠（ちゅうせい） 忠言（ちゅうげん） 忠臣（ちゅうしん）

（1）忠犬として有名な犬。

（2）姉の□（ちゅう こく）に従（したが）う。

（3）□（ちゅう ぎ）な家来。

（4）仕事に□（ちゅう じつ）にはげむ。

練習しよう　形の似ている漢字

（1）□（おん）に着る。

（2）□（おもいで）の品。

（3）□（い し）の強い人。

（4）□（さい ぜん）をつくす。

（5）□（き しょく）満面の妹。

気をつけよう

敬う…送りがなを「敬まう」と書かないように注意。

善…「羊」の部分の書き順に注意。

誠

13画

音 セイ
訓（まこと）

部首	意味	言葉
言 ごんべん	まこと ほんとうに	至誠（しせい） 誠（まこと）をつくす。

（1）誠心誠意対応する。（　　）

（2）せい じつ な人柄（ひとがら）。

（3）ちゅう せい をちかう。

（4）せい い を示す。

孝

7画

音 コウ

部首	意味	言葉
子 こ	よく父母に仕える	孝養（こうよう） 忠孝（ちゅうこう）

（1）孝心の厚い人。（　　）

（2）父母に こう こう する。

（3）おや こう こう な子供（こども）。

（4）おや ふ こう な行い。

仁

4画

音 ジン（ニ）

部首	意味	言葉
イ にんべん	いつくしみ なさけ ひと	仁政（じんせい） 仁王門（におうもん）

（1）仁徳の備わっている人。（　　）

（2）じん あい の心。

（3）じん ぎ を守る。

（4）医は じん じゅつ なり。

推

11画

音 スイ
訓（お-す）

部首	意味	言葉
扌 てへん	おす うつりかわる	推測（すいそく） 推敲（すいこう） 推定（すいてい）

（1）市の人口の推移を調べる。（　　）

（2）計画を すい しん する。

（3）字から性格を るい すい する。

（4）すい り 小説を読む。

奮

16画

音 フン
訓 ふるう

部首	意味
大（だい）	ふるいたつ

言葉
奮闘（ふんとう）
発奮（はっぷん）
奮い立つ（ふるいたつ）

(1) はげましの言葉に奮起する。（　　）

(2) ふん せん して勝つ。

(3) こう ふん して話す。

(4) 勇気を ふるう 。

欲

11画

音 ヨク
訓 （ほ-しい）

部首	意味
欠（あくび）	ほっする よく

言葉
欲望（よくぼう）
無欲（むよく）
知識欲（ちしきよく）

(1) 勉強に意欲を燃やす。（　　）

(2) よっ きゅう を満たす。

(3) しょく よく がわく。

(4) よくばり な考え。

練習しよう

1 同じ部首の漢字

(1) よく とく ずくの考え。

(2) もく じ を見る。

(3) けっ てん を直す。

(4) 部長に すい きょ する。

(5) 相手と ちょく せつ 話す。

(6) 高度な ぎ じゅつ 。

(7) ボールを なげる 。

2 同じ音読みの漢字

(1) こう せき をたたえる。

(2) 親 ふ こう もの

(3) のう こう 民族の歴史。

(4) ふん ぱつ して買う。

(5) ユリの か ふん 。

気をつけよう

孝…「考」とまちがえない。

仁…「仕」とまちがえない。

月　日

1 読む

線部の読みがなを書きなさい。

(1) 恩師の生き方や考え方を尊敬する。（　　）

(2) 奮戦した結果、県大会で優勝することができた。（　　）

(3) 持ち主を推測して、落とし物を届(とど)けた。（　　）

(4) 王に忠誠をちかう場面。（　　）

(5) 弟は意欲的で、人柄(ひとがら)も明朗快活だ。（　　）

(6) 善い行いを心がける。（　　）

(7) 仁義と孝心がテーマの時代劇(じだいげき)を見た。（　　）

2 書く

□に漢字を書きなさい。送りがながあるものは送りがなも書きなさい。

(1) 相手に□□□をつくし、□□□を深める。（せいい　しんぜん）

(2) □□□小説の意外な結末に□□□した。（すいり　こうふん）

(3) 医は□□□といわれ、□□□命を救った。（じんじゅつ　とうとい）

(4) 「□□□にとらわれるな。」と□□□される。（よくぼう　ちゅうこく）

(5) 自然を□□□、先祖を□□□祭り。（たっとび　うやまう）

(6) □□□ずに一つずつ□□□しよう。（よくばら　かいぜん）

(7) 気力を□□□て、□□□に戦うわがチーム。（ふるっ　ゆうせい）

3 使う　次の文章中の□に合う言葉を、後の□から選んで漢字で書きなさい。

春休みに、姉が出場する卓球大会を見に行きました。姉は、(1)□候補相手にもねばり強く(2)□しました。一緒に行った母は、どんなに苦しい場面でも明るい大きな声で応援を続けました。大会後の(3)□会から帰った姉は私にこっそり、「お母さんの元気な応援のおかげで(4)□して頑張れたんだ。少しは(5)□できたかな」と言いました。私は(6)□な人柄の母や頑張り屋の姉を(7)□しています。

こうこう　めいろう　そんけい　ぜんせん
しゃおん　ゆうしょう　ふんき

4 使う　同じ部分がある漢字に注意して、□に漢字を書きなさい。送りがながあるものは送りがなも書きなさい。

(1) 自分の□（よっ　きゅう）を満たす。

(2) □（つぎ）の日に復習する。

(3) □（けっ　せき　しゃ）の人数を調べる。

(4) □（おんがえし）をする。

(5) 芸術家の道を□（こころざす）。

(6) 君主や親への□（ちゅう　こう）の話が書かれた昔の本。

(7) □（し　こう　りょく）をきたえる。

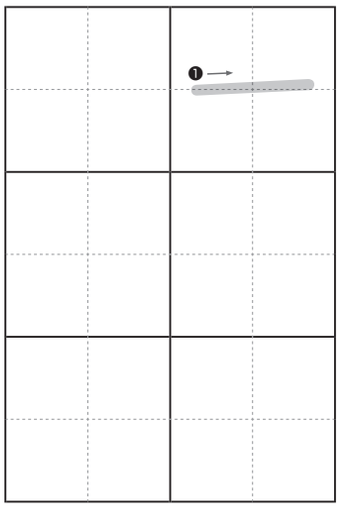
月　日

一

1かく

ぶしゅ
一 いち

おん イチ
イツ
くん ひと
ひと-つ



ことば

はがきを 一まい かう。
一月に テストが ある。
かえるを 一ぴき 見つける。
みかんを 一つ もらう。

(1) 一じに こうえんに あつまる。

(2) ペンを 本 かりる。

(3) アイスクリームを 口 もらう。

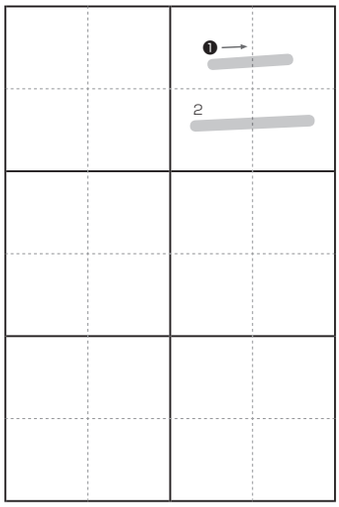
(4) せきが 空いて いる。

二

2かく

ぶしゅ
二 に

おん ニ
くん ふた
ふた-つ



ことば

えんぴつを 二本 けずる。
本を 二さつ かりる。
いもうとは 二えまぶただ。
りんごを 二つに きる。

(1) 子ねこが 二ひき 生まれる。

(2) チャイムが かい きこえる。

(3) おかずを さら たべる。

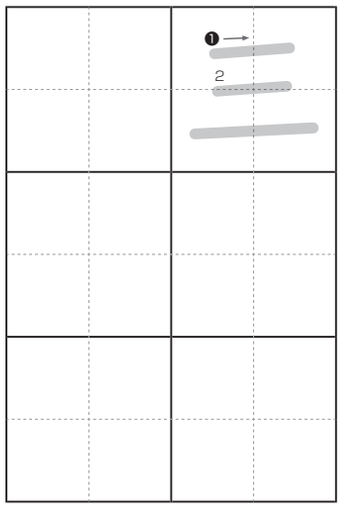
(4) たまごを つかう。

三

3かく

ぶしゅ 一 いち

おん サン
くん み
み-つ
みっ-つ



ことば

さかなが　三びき　およぐ。
三日月が　くもに　かくれる。
あねは　三つあみが　にあう。
くりを　三つ　むく。

(1) 千円さつを　三つおりに　する。

(2) おりがみを　まい　つかう。

(3) 空に　日月が　うかぶ。

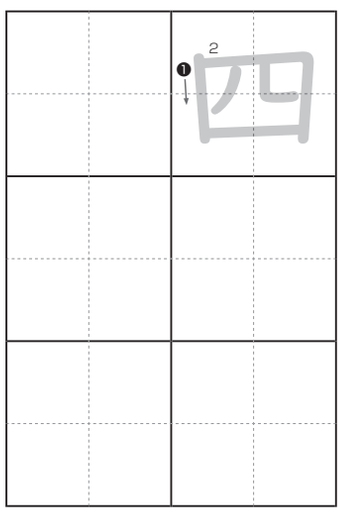
(4) いちごを　たべる。

四

5かく

ぶしゅ 口 くにがまえ

おん シ
くん よ
よ-つ
よっ-つ
よん



ことば

四月に　たねを　まく。
バスていに　四人　ならぶ。
四日　かけて　えを　かく。
車が　四だい　とおる。

(1) こうえんで　四つばの　クローバーを　見つける。

(2) かくい　たてものが　ならぶ。

(3) 一日で　本を　さつ　よむ。

(4) あめを　ずつ　くばる。

1 よむ ―の かん字に、よみがなを つけよう。

(1) 一つの りんごを 三つに わける。

(2) 千円さつを 二まい 出す。

(3) 四かくい はこを 六つずつ くばる。

(4) いちごを 五つと くりを 九つ たべる。

(5) 百円玉が 八まい ある。

(6) りんごを 七つと みかんを 八つ かう。

(7) ぜんいんで 九十人 いる。

2 かく □に、かん字を かこう。
～～は、かん字と ひらがなを かこう。

(1) はち この なしを よっつ ずつに わける。

(2) ご ひゃく 円玉が じゅう まい あつまる。

(3) ここの 日に あめを ふたつ もらう。

(4) ち よがみを いち まい つかう。

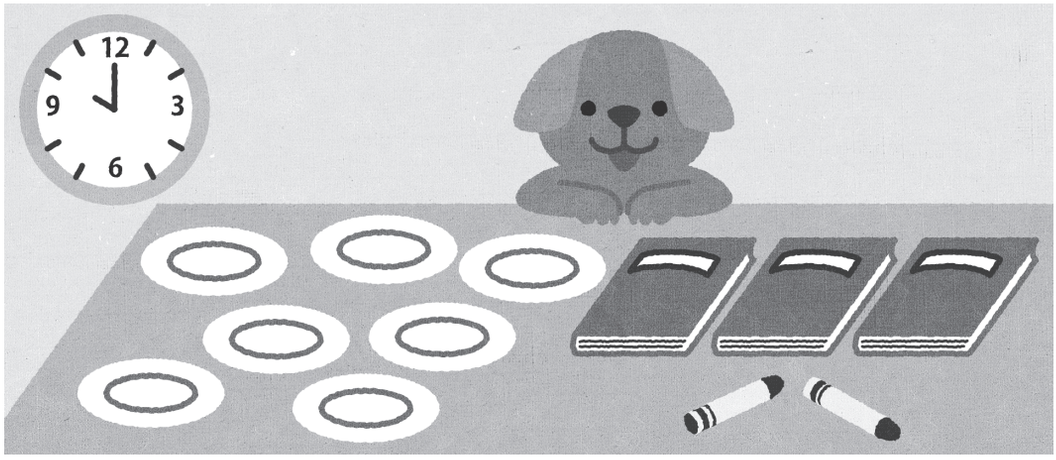
(5) みつ あみの 子が よ 人 いる。

(6) 犬の むつ 子が 生まれて とお 日 たつ。

(7) いちごを しち 人に さん こずつ くばる。

3 つかう

えを 見て □に あう ことばを、かん字と ひらがなで かこう。



(1) クレヨンが 二ほん あります。

(2) 犬が □ います。

(3) 本が □ あります。

(4) さらが □ あります。

(5) とけいが □ を さして います。

4 つかう

——は かん字が まちがって いるよ。□に 正しく かきなおそう。

(1) 三百円で 本を かう。 → □

(2) かみを 千まい かぞえる。 → □

(3) あさ 八じに 出かける。 → □

(4) 力しが 四つに くむ。 → □

(5) みかんが 九つ ある。 → □

(6) さいふから 五円玉を 出す。 → □

(7) あと 六日で えん足だ。 → □